

開講科目名	インターンシップ		
担当教員	賀谷 信幸	開講区分	単位数
		通年	4単位

授業のテーマと目標

実践工学コースは、企業からの実践的な課題提供と、企業と大学の双方向の指導による問題解決能力の養成を目指した院生派遣プロジェクトである。実践工学コースでは、産業界が現在取り組んでいる生の課題を院生に与えてもらい、院生はその課題の中から問題を発見し商品開発など企業での研究開発を実践する。

授業の概要と計画

研究開発の課題は、派遣先の企業との協議で決定する。

成績評価方法と基準

コースの最後に企業内で実施した研究開発の成果を発表する。評価の目安は、意欲的に研究開発に参加したと判断できる場合を優、研究開発の内容はよく理解したが、積極性が十分でないと判断できる場合を良、研究開発の内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を可とする。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし。

オフィスアワー・連絡先

質問等は、賀谷のメール (kaya@kobe-u.ac.jp) へ連絡してください。

学生へのメッセージ

受講を希望される学生は、賀谷のメール (kaya@kobe-u.ac.jp) へ連絡すること。

テキスト

適宜資料を配布

参考書・参考資料等

特になし。

開講科目名	先端融合科学特論Ⅱ－2　ナノエンジニアリング研究		
担当教員	林　真至	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと目標

ナノメートル程度のサイズを持つ物質系を制御性良く作製し、特異な物理的・化学的性質に基づく新しい機能性を発現させ、新規なデバイスを開発するための基礎から先端技術までを広く習得することを目的とする。

授業の概要と計画

ナノ材料創製、ナノ材料物性、ナノ材料評価、ナノ材料設計の各論とともに、ナノ材料を用いたデバイスの開発及びナノエンジニアリングの具体例について述べる。

成績評価方法と基準

出席およびレポートによって評価する。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

大学院初級の数学、物理、化学の基礎を習得していることが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

学生へのメッセージ

テキスト

参考書・参考資料等

指定しない。